

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度 技術情報第8号（普通期水稻トビイロウンカ）について（送付）

トビイロウンカの今後の防除対策について、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

平成21年度 技術情報第8号

1 対象病害虫 トビイロウンカ

2 対象作物 普通期水稻

3 発生状況

- (1) 7月上旬（飛来世代成虫期～第一世代卵期）の巡回調査では、発生ほ場率が9%（平年6%）であった（技術情報第7号参照）。
- (2) 7月15～23日の巡回調査（飛来第一世代幼虫期～第二世代成虫期）での発生ほ場率は47%（平年4%）と高まり（表1）、増殖率の高い短翅型雌成虫も認められた。
- (3) 農業開発総合センター内の無防除ほ場では、7月21日調査で成幼虫が1株当たり1.5頭に達している。

4 防除の考え方

- (1) トビイロウンカに対する防除（粉剤・液剤・粒剤等による防除）
粉剤・液剤等で防除を行う場合は、7月1日飛来のトビイロウンカ第2世代幼虫を対象に8月12～18日頃に行う。

5 防除上注意すべき事項

- (1) トビイロウンカは増殖率が年間1,000～1,500倍と非常に高く、8月下旬以降には高密度となり坪枯れ被害を生じる。ほ場内の分布にはムラがあるので、出来るだけほ場全体の発生状況を確認する。
- (2) 稲の株元に生息するので、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布する。
- (3) 農薬の使用基準を遵守し、薬剤散布にあたっては飛散に十分注意して行う。

(参考資料)

表1 トビイロウンカの発生状況 調査日：7/15～23

地域名	発生ほ場率 (%)		調査ほ場数
	平成21年	平年	
南 薩	20	9	10
北薩平坦	58	3	24
北薩山間	45	4	22
大 隅	33	6	6
県 計	47	4	62

※ 平年値は1999年～2008年までの平均

※ 巡回調査地点

南 薩：南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目

日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，蒲生町楠田，始良町三拾町

霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎・高江

出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田

薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手

伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方

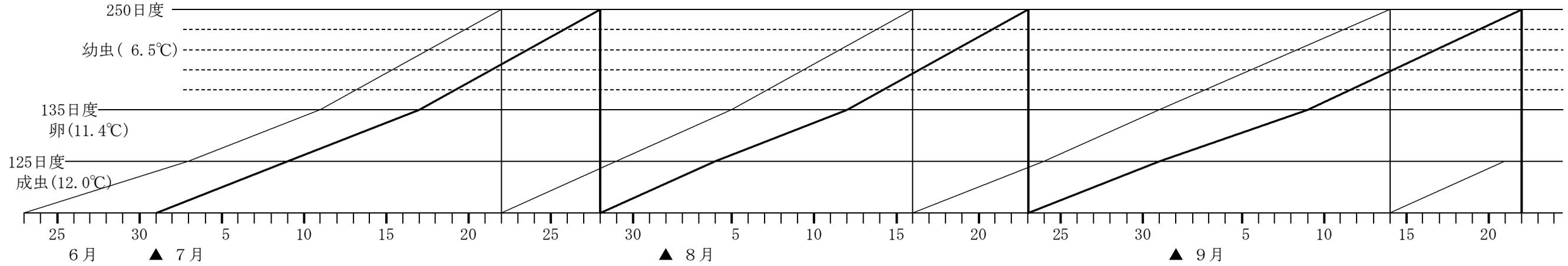
大 隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里

海外飛来性害虫の有効積算温度による発生経過予測図（鹿児島地方気象台：鹿児島郡のデータを使用）

2009年 7月17日 作成

鹿児島県病害虫防除所

1. トビイロウンカ



(注) 気温の低い地域では予測より2～4日程度遅くなる。